

平成10年度贈呈者一覧

平成10年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (22件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	分泌因子Chordinとkielinによる神経分化制御とその応用	笹井 芳樹	京都大学 再生医科学研究所 再生誘導研究分野 [P15]
2	痛みを制御するペプチド、ノシスタチンの受容体及び産生機構の解明	芦高恵美子	関西医科大学 医化学講座 [P17]
3	アポトーシスを誘導するペプチド配列を用いた抗腫瘍効果の解析	畠 清彦	自治大学 血液学 [P20]
4	神経細胞の分化と死におけるASK1-MAPキナーゼ系の役割	一條 秀憲	東京医科歯科大学 歯学部 歯科理工学第二講座 [P22]
5	動物細胞が増殖中におこす染色体断裂とその修復機構	園田英一朗	京都大学大学院医学研究科 分子免疫学アレルギー学講座 [P24]
6	ナトリウム・ヨードシンポータの構造と機能、発現調節機構	小杉 眞司	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学講座 臨床病態検査学分野 [P27]
7	骨形成因子の医療応用のための基礎的研究	今村 健志	(財)癌研究会 癌研究所 生化学部 [P29]
8	新しい骨形成因子としてのナトリウム利尿ペプチドファミリーの分子医学的研究	小川 佳宏	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学第二内科 [P31]
9	cPLA2ノックアウトマウスを用いたARDS発症メカニズムの解明	長瀬 隆英	東京大学 医学部 老年病学教室 [P34]
10	細胞接着斑蛋白質パキシリンのゴルジ装置への局在機構の解析	佐邊 壽孝	大阪バイオサイエンス研究所 第一研究部 [P37]

(2) 免疫制御機構に関する研究 (老化、免疫低下等を含む)

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
11	JAKキナーゼ阻害因子JABの作用機序と生理機能の解明	遠藤 高帆	久留米大学分子生命科学研究 所 遺伝情報研究部門 [P39]

12	サイトカイン信号伝達におけるSSI分子によるネガティブフィードバック機構の解析	植崎 雅司	大阪大学大学院医学系研究科 C4分子病態内科学 [P41]
13	Fas-Fasリガンド系の異常による自己免疫疾患発症機序の研究	須田 貴司	金沢大学がん研究所附属分子標的薬剤開発センター [P44]
14	免疫不全症の責任遺伝子およびその関連分子の異常によるヒト免疫系の脱制御に関する研究	塚田 聡	大阪大学 医学部 内科学第三講座 [P46]
15	ZAP-70欠損マウスにおける皮膚・粘膜内 $\gamma\delta$ T細胞の解析	根岸 泉	群馬大学 医学部 皮膚科学教室 [P48]
16	新型インフルエンザに対するペプチドワクチンの作製と新しいアジュバントとしての抗CD40抗体の効果判定	小笠原一誠	北海道大学免疫科学研究所 病理部門 [P51]
17	B細胞活性化に関わる膜蛋白質分子CD72のリガンド検索に関する研究	安達 貴弘	東京医科歯科大学難治疾患研究所 免疫疾患研究分野 [P53]
18	神経と病原体との「分子相同性」に基づく自己免疫性神経疾患の発症機序の解明	結城 伸泰	獨協医科大学 神経内科 [P56]
19	基本的生体防御システムの活性化機構	倉田祥一朗	東北大学 薬学部 生物薬品化学教室 [P58]
20	哺乳類ポリコム遺伝子産物によるリンパ球前駆細胞増殖の分子メカニズムの解明	古関 明彦	千葉大学大学院医学研究科 発生生物学 [P60]
21	新規アポトーシス誘導ベクターを用いた移植片態宿主病の遺伝子治療	久米 晃啓	自治医科大学分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部 [P62]
22	STAT 3 活性化機構解明とSTAT3作用を担う標的遺伝子群の同定	中嶋 弘一	大阪市立大学 医学部 老年医学研究部門 免疫学分野 [P65]

## 2. 薬物科学関係 (10件)

### (1) 創薬の研究 (医薬品の開発・評価等を含む)

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	腫瘍血管新生ならびに癌浸潤・転移阻止能力をもつクリングル分子 (HGF/NK4) による制癌研究	松本 邦夫	大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター 腫瘍生化学 [P68]
2	熱帯産薬用植物含有アルカロイドをリード化合物とした新規オピオイド作動薬開発のための医薬化学的研究	高山 廣光	千葉大学薬学部附属薬用資源教育研究センター [P70]

3	プロスタグランジン受容体リガンドの分子設計	根岸 学	京都大学大学院薬学研究科 神経機能制御学分野 [P73]
4	慢性関節リウマチの滑膜細胞選択的な増殖抑制に向けた創薬開発	上阪 等	東京医科歯科大学 医学部 内科学第一講座 [P75]
5	ビタミンD誘導体特異的生理作用の分子メカニズムとその評価法の開発	大山 義彦	広島大学 理学部 遺伝子科学 専攻遺伝子化学講座 [P78]
6	変異型ヘルペスウイルスを用いたin situ癌ワクチンによる免疫遺伝子治療の開発	戸田 正博	慶應義塾大学 医学部 生理学教室 [P80]
7	HIV-1由来のRNAに特異的に結合する分子の設計と創薬への応用	濱崎 啓太	東京工業大学 生命理工学部 生物工学科 生物機能工学講座 [P83]
8	熱ショック蛋白誘導をターゲットとした、新規胃粘膜保護薬の開発	水島 徹	岡山大学 薬学部 微生物薬品 化学教室 [P85]

## (2) 薬物送達の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
9	生体防御ペプチドを利用した腫瘍選択的薬物ターゲットングシステムの構築	松崎 勝巳	京都大学大学院薬学研究科 薬品物性学分野 [P87]
10	遺伝子治療医薬品の体内動態／細胞内動態Dual制御型デリバリーシステムの開発	高倉 喜信	京都大学大学院薬学研究科 病態情報薬学分野 [P89]

## 3. 情報科学関係 (10件)

### (1) 心臓・血管疾患の本態解明に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	高血圧負荷によって生じる心筋細胞肥大・心筋リモデリングの発生機序の解析と心筋細胞特異的な成長因子の同定	山崎 力	東京大学 保健管理センター [P92]
2	心不全発症におけるGATA-5転写因子の役割	長谷川浩二	京都大学医学研究科 循環病態学 [P94]
3	心筋灌流最小ユニットにおける局所心筋変形の可視化－心筋微小領域変形不均一性の解明－	豊田 英嗣	川崎医科大学 放射線科核医学 [P97]
4	心筋ATP感受性Kチャネル構成蛋白の発現調節シグナリングに関する基礎的研究	大谷 秀夫	京都大学 医学研究科 器官 病態学 循環病態学講座 [P99]
5	ニューロン活動の光学的イメージングによる本態性高血圧症における循環中枢機能の研究	佐藤 容子	東京医科歯科大学 医学部 第二生理学教室 [P102]

6	血管の緊張亢進、病変形成における低分子量G蛋白rhoの役割解明	西村 淳二	九州大学医学部心臓血管研究施設 分子細胞情報学部門 [P105]
---	---------------------------------	-------	-------------------------------------

(2) 心臓・血管疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
7	単一の小型軸流型血液ポンプの正反転駆動により両心機能を実現する新しい原理の体内埋込型拍動流完全人工心臓の開発	磯山 隆	東京大学先端科学技術研究センター 人工生体機構分野 [P107]
8	心臓・血管疾患におけるアドレノメデュリンの病態生理的意義の解明と臨床応用	錦見 俊雄	国立循環器病センター研究所 病因部 高血圧研究室 [P109]
9	薬剤性腎障害における血管作動性物質の関与とその役割について	野々口博史	熊本大学 医学部 第三内科学教室 [P112]
10	シャイ・ドレーガー症候群の起立性低血圧を克服するためのバイオニック圧受容器反射システムの開発	佐藤 隆幸	国立循環器病センター研究所 循環動態機能部 [P115]

※研究助成金は1件100万円とする。

平成9年度贈呈者一覧

平成9年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (30件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対しての生理活性を有する物質に関する研究

No	課 題	主たる研究者名	所 属
1	分子シャペロン、Hsp90とHsc70を介するタンパク質のフォールディング	南 康文	大分医科大学 医学部 生化学第一 [P15]
2	リズム発振をつかさどる時計遺伝子の分子機構	岡村 均	神戸大学 医学部 医学科解剖学第二講座 [P16]
3	ヒトAMLオンコジン産物の細胞内局在振り分けによる、細胞骨格・遺伝子発現に対する二面的な作用	渡邊 利雄	東北大学加齢医学研究所 免疫遺伝子制御研究分野 [P19]
4	ヒトGM-CSFによる細胞増殖を制御するシグナル伝達機構の解析	武藤 彰彦	東京大学医科学研究所 分子生物学研究部 [P21]
5	高頻度にターゲットインテグレーションをおこすニワトリBリンパ細胞株の相同DNA組換え機構の解析	高田 稜	京都大学大学院 医学研究科 分子免疫学・アレルギー学講座 [P23]
6	発生工学的手法を用いたヒト白血病モデルマウスの作製	三谷 絹子	東京大学医学部附属病院 第3内科 [P25]
7	アルツハイマー病における神経細胞死の分子機構と拮抗物質の研究	西本 育夫	慶應義塾大学 医学部 薬理学教室 [P28]
8	妊娠高血圧発症の分子機構の解明	深水 昭吉	筑波大学応用生物化学系 応用分子生物学研究室 [P30]
9	血管平滑筋の起源細胞と生理活性ペプチドによる分化誘導に関する研究	栗原 裕基	東京大学 医学部 第三内科 [P32]
10	器官形成におけるBMPの役割に関する研究	西松伸一郎	川崎医科大学 分子生物学教室 [P34]
11	TGF- $\beta$ ファミリー因子群の細胞内伝達分子DPC4を介した増殖制御機構の解析	浦野 健	名古屋大学 医学部 生化学第二講座 [P37]
12	RaplA・Ras・Raf-1三者複合体の細胞外シグナルによる制御	荻谷 研一	神戸大学 医学部 生理学第二講座 [P38]
13	生理活性物質としての転写因子を用いた新しい発想に基づく糖尿病の治療理論の確立：遺伝子治療を目指して	中島 弘	大阪大学 医学部 分子制御 内科学(第二内科) 教室 内分泌代謝研究室 [P41]

## (2) 免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No	課 題	主たる研究者名	所 属
14	リンパ球の増殖を制御する分子機構に関する研究	中山 敬一	九州大学生体防御医学研究所 細胞学部門 [P43]
15	T細胞副シグナル分子CTLA-4の細胞内局在とシグナル伝達	大野 博司	千葉大学医学部附属高次機能 制御研究センター 遺伝子情報分野 [P46]
16	免疫応答における活性化・細胞死を制御する細胞内制御機構	本山 昇	九州大学生体防御医学研究所 感染防御学部門 [P48]
17	膜型IgGと会合するタンパクの同定	改正 恒康	兵庫医科大学 生化学教室 [P50]
18	トランスジェニックマウスを用いたB細胞の選択、活性化におけるCD40シグナルの機能の解明	鐸田 武志	東京医科歯科大学難治疾患研 究所ウイルス・免疫疾患研究 部門 [P51]
19	酸化的修飾の自己免疫疾患の病態形成における役割	岩井 一宏	京都大学大学院 医学研究科 免疫細胞生物学 [P54]
20	IRFファミリー転写因子による生体防御系の制御	瀧 伸介	東京大学大学院 医学研究科 免疫学教室 [P56]
21	シェーグレン症候群発症機序のC型肝炎ウイルストランスジェニックマウスを用いた解明	小池 和彦	東京大学 医学部 第一内科 [P58]
22	シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ	住田 孝之	聖マリアンナ医科大学難病治療 研究センター第1部門 [P59]
23	胚中心における新しいB細胞選択機構の解明	疋田 正喜	岡山大学 工学部 生物機能工学科 [P61]
24	CD30を介するシグナル伝達の分子機構の解明	堀江 良一	東京大学医学部附属病院 第一内科 [P63]
25	キメラ作製法を用いたリンパ組織の形成に関わる分子機構の解析	松本 満	愛媛大学 医学部 第一内科 [P65]
26	新たに見いだされたキラーリンパ球活性化レセプター-DNAM-1の情報伝達機構の解析	渋谷 彰	岡山大学 医学部 寄生虫学講座 [P68]
27	Chediak-Higashi症候群原因遺伝子のクローニングとその機能解析	深井 和吉	大阪市立大学 医学部 皮膚科学教室 [P70]
28	マスト細胞分化におけるmiRNA転写因子の役割	森井 英一	大阪大学 医学部 病理学教室 [P72]
29	T細胞分化におけるMAPキナーゼスーパーファミリーの関与	鈴木 春巳	慶應義塾大学 医学部 微生物学教室 [P75]
30	ヒスタミン欠損マウスの免疫機構	大津 浩	東北大学 医学部 細胞薬理学教室 [P76]

## 2. 薬物科学関係（9件）

### (1) 薬物設計の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	TGF- $\beta$ 活性化抑制剤を用いた肝線維化の治療薬の開発	奥野 正隆	岐阜大学医学部附属病院 第一内科 [P79]
2	高機能シトクロムP-450モデル系の生理活性物質創製を指向した高度利用化	樋口 恒彦	東京大学大学院 薬学系研究科 薬品代謝化学教室 [P81]
3	新たに見出した抗糖尿病薬結合タンパク質の構造と新しい機能、疾患との関連性の追求およびその成果に基づく新規薬物の開発	國安 明彦	熊本大学 薬学部 放射薬品学研究室 [P83]
4	$\beta 2$ アドレナリン受容体と $\beta 2$ 選択的アゴニストの結合のモデリング解析	黒瀬 等	東京大学大学院薬学系研究科 薬効安全性学教室 [P85]

### (2) 薬物送達の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
5	中枢神経系における甲状腺ホルモン輸送体の分子生物学的研究	阿部 高明	東北大学 医学部 生体情報学 [P87]
6	生理活性ペプチドによる効率的な治療を目指した薬物送達システムの開発に関する研究	加藤 将夫	東京大学大学院 薬学系研究科 医療薬学大講座 製剤設計学教室 [P89]
7	サイトカイン修飾リボソームを用いた遺伝子導入療法の基礎研究	佐藤 均	富山医科薬科大学附属病院 薬剤部 [P92]
8	腎をターゲットとしたドラッグデリバリーシステムを用いた慢性腎疾患治療法の開発	吉岡 俊正	東京女子医科大学医学部 薬理学教室 [P94]
9	脳防御システムとしての物質輸送機構の解明	高長ひとみ	九州大学 薬学部 薬剤学教室 [P96]

## 3. 情報科学関係（1件）

### 循環器疾患の本態解明に関する情報科学

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	血管病（緊張および増殖異常）の本体解明、治療に関する分子細胞情報学的研究	小林 誠	山口大学 医学部 生理学第一講座 [P99]

#### 4. 生体工学関係（2件）

##### (1) 心臓疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	心臓エネルギー学と期外収縮後の収縮性変化からの心筋細胞内カルシウム動態の推測法	清水壽一郎	岡山大学 医学部 生理学第二講座 [P102]

##### (2) 粒子線による診断と治療の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
2	重粒子線照射時の放射線感受性に対するミトコンドリアDNAの影響	山崎 秀哉	大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター 集学放射線治療学教室 [P104]

※研究助成金は1件100万円とする。



平成 8 年度贈呈者一覧

平成 8 年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (30件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	ヒストンアセチル化によるクロマチン構造を介した転写制御機構の解明	青田(浦)聖恵	久留米大学医学部ウイルス学講座 [P14]
2	新しく発見されたアルツハイマー病の原因遺伝子 presenilin-1/-2と $\beta$ 蛋白の相互作用	東海林幹夫	群馬大学医学部神経内科学教室 [P16]
3	子宮毛細血管の再生にかかわるエリスロポエチンの作用メカニズムの解明	増田 誠司	京都大学農学部食品工学科食品化学研究室 [P19]
4	薬用植物からの有用物質生産の制御遺伝子のクローニングと分子エンジニアリング	斉藤 和季	千葉大学薬学部薬用資源教育研究センター遺伝子資源応用研究室 [P21]
5	ミッドカイン受容体の同定および単離	門松 健治	名古屋大学医学部生化学第一講座 [P23]
6	ミトコンドリアゲノムに対する遺伝子操作法の基礎研究	田中 雅嗣	名古屋大学医学部生化学第二講座 [P26]
7	神経初期発生における液性因子のシグナル伝達の解明	日比 正彦	大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター腫瘍病理 [P28]
8	低分子量 GTP 結合蛋白質による新規のシグナル伝達酵素ホスホリパーゼDの活性調節機構	金保 安則	東京工業大学生命理工学部生命理学科・金保研究室 [P30]
9	高頻度にターゲットインテグレーションを起こすニワトリBリンパ細胞株を使った相同DNA組み換え機構の解析	武田 俊一	京都大学医学研究科分子免疫学アレルギー学講座 [P33]
10	脂肪酸代謝関連蛋白遺伝子のノックアウトマウスを用いた肝臓、心臓、脳神経における脂肪蓄積障害の原因究明	青山 俊文	信州大学医学部生化学教室 [P35]

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
11	光受容およびホルモン受容におけるG蛋白質共役受容体を制御する機構の解明とその臨床応用	大黒 浩	札幌医科大学医学部 眼科学講座 [P38]
12	新しい血管新生制御因子の分離とその機能の解明—成人性血管障害予防・治療法開発への新しいアプローチ—	米倉 秀人	金沢大学医学部 生化学第二教室 [P40]
13	新しいレチノイン酸作用機構の制御にかかわる因子に関する研究	高橋 典子	星薬科大学衛生化学教室 [P41]
14	遺伝子治療に向けたヒト人工染色体の構築	石川 冬木	東京工業大学生命理工 学部生命理学科細胞構 築学講座 [P44]
15	悪性脳腫瘍におけるTIMP2の浸潤抑制効果に関する研究	矢崎 貴仁	慶応義塾大学医学部 生理学教室 [P46]
16	温度感受性変異ダイナミン発現系を用いた神経細胞におけるエンドサイトーシスの研究	馬場 健	山梨医科大学医学部 解剖学第一教室 [P49]
17	虚血性心疾患に対する血管新生療法の臨床応用に関する研究	竹下 聡	帝京大学医学部 第2内科 [P51]

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
18	HOX11遺伝子ファミリーの器官形成とリンパ球分化における機能解析	幡野 雅彦	千葉大学医学部高次機 能制御研究センター 生体情報分野 [P53]
19	STAT5標的遺伝子の検索と生理機能の解析	吉村 昭彦	久留米大学分子生命科 学研究所遺伝情報研究 部門 [P56]
20	慢性関節リウマチの病態と骨髄間質細胞膜抗原BST-1の機能	石原 克彦	大阪大学医学部バイオ メディカル教育研究セ ンター腫瘍病理 [P58]
21	c-kitレセプターを介したマスト細胞の増殖機構に関する研究	辻村 亨	大阪大学医学部附属病 院病理部 [P61]
22	IL-2産生刺激に伴うMAPキナーゼスーパーファミリー活性化機構の解析	松田 達志	慶應義塾大学医学部 微生物学教室 [P64]

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
23	マクロファージ分化過程における新規 bZip 型転写因子 Bach2の機能の解析	五十嵐和彦	筑波大学先端学際領域 研究センター [P66]
24	リンパ球表面に発現している Ca 誘導性 Ca 放出チャンネルの同定および cDNA クローニング	黒崎 知博	関西医科大学附属肝臓 研究所分子遺伝学部門 [P68]
25	T細胞の分化成熟、アポトーシス、アナジ- ーを決定するシグナル伝達経路の解明	中山 俊憲	東京理科大学生命科学 研究所免疫生物学研究 部門中山研究室 [P70]
26	マウス胚性幹細胞からの <i>in vitro</i> 分化誘導 系を用いた免疫細胞分化機構の解析	仲野 徹	大阪大学微生物病研究 所遺伝子動態研究分野 [P73]
27	リンパ節の組織構築を制御する新しいスト ロマ細胞特異的分子の探索	田中 稔之	大阪大学医学部バイオ メディカル教育研究セ ンター臓器制御学研究 部 [P75]
28	新しいサイトカイン IGIF によるアレルギー- 治療の試み	善本 知広	兵庫医科大学免疫学, 医動物学教室 [P77]
29	がん転移・エイズ発症・リウマチに関与す る転写因子 NF $\kappa$ B の活性化シグナルの基礎 的研究と新たな治療法の開発	岡本 尚	名古屋市立大学医学部 分子医学研究所 分子遺伝部門 [P79]
30	複合酸性糖脂質による免疫制御機構の解析	古川 圭子	三重大学医学部 生化学教室 [P81]

## 2. 薬物科学関係 (9 件)

### (1)薬物設計の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	系統的な高選択精密合成法を用いた新規ス フィンゴ脂質関連生理活性物質の創製	花田賢太郎	国立予防衛生研究所 細胞化学部 [P84]
2	アドレノメデュリンと PAMP の臨床治療学 的応用	加藤 丈司	宮崎医科大学医学部 内科学第一講座 [P86]
3	プロテアーゼ活性を促進するペプチド型新 規抗癌剤の開発	日和佐隆樹	千葉県がんセンター研 究所 [P88]
4	神経ペプチド・ダイノルフィン類によるア ルツハイマー型老年性痴呆薬の開発研究	平松 正行	名城大学薬学部 薬品作用学教室 [P91]

## (2)薬物送達の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
5	腎尿細管における有機イオン分泌機構の分子・細胞生物学的解析	齋藤 秀之	京都大学医学部附属病院薬剤部 [P93]
6	血液脳関門排出輸送機構に基づいた脳への薬物送達	寺崎 哲也	東北大学薬学部薬剤学教室 [P95]
7	<i>in vitro</i> 血液脳関門 (BBB) モデルを用いた中枢神経疾患治療薬物の薬物送達評価系の確立	浅井 清文	名古屋市立大学医学部分子医学研究所生体制御部門 [P97]
8	dry powder inhalation 製剤のための粒子設計に関する研究	小口 敏夫	千葉大学薬学部製剤工学研究室 [P99]
9	T細胞システイン輸送機構の分子の実体の解明およびシステイン誘導体輸送特性の検討ーシステイン誘導体の後天性免疫不全症候群 (AIDS) 治療薬としての可能性ー	金井 好克	杏林大学医学部薬理学教室 [P102]

## 3. 情報科学関係 (2件)

### 循環器疾患の本態解明に関する情報科学

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	カオス理論による情報量解析を用いた心不全における左室収縮の病態生理学的研究	山家 智之	東北大学加齢医学研究所病態計測制御研究分野 [P104]
2	異型狭心症における好中球の役割	藤村 昭夫	自治医科大学臨床薬理学 [P106]

## 4. 生体工学関係 (1件)

### 心臓疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	医療高分子材料の血液適合性機構の分子レベルからの解明; Jellyfish 弁へのタンパク・カルシウム沈着機構と疲労の評価および血液適合性の改良	松浦 弘幸	東京大学先端科学技術研究センター人工生体機構分野 [P108]

※研究助成金は1件100万円とする。

平成7年度贈呈者一覧

平成7年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (29件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	TGF- $\beta$ スーパーファミリーのレセプターとシグナル伝達機構の研究	宮園 浩平	(財)癌研究会癌研究所 生化学部
2	細胞増殖因子ポリアミンの輸送機構の解明	柏木 敬子	千葉大学薬学部 臨床化学研究室
3	心肥大形成機序の解明—伸展受容体及び心肥大、成長因子の単離—	小室 一成	東京大学医学部 第三内科21研究室
4	内因子(ビタミンB <sub>12</sub> 結合蛋白質)の機能領域と細胞への取込み機構	前田 正知	大阪大学薬学部 生物薬品化学講座
5	活性酸素消去システムの破綻による神経疾患発症機構の解明	藤井 順逸	大阪大学医学部 生化学教室
6	神経線維腫症1型などの神経難病の分子制御	高橋 和広	東北大学医学部 応用生理学教室
7	エンドセリンおよびその受容体遺伝子ノックアウトマウスの自律神経機能の研究	桑木 共之	東京大学医学部 第2生理学教室
8	特発性心筋症の疾患モデルマウスの作成と遺伝子治療法の開発	間野 博行	自治医科大学医学部 分子生物学講座
9	ミトコンドリア病細胞における酸素ストレス誘導性細胞死の病態解明と抗酸化酵素遺伝子のミトコンドリア内選択的発現による細胞死の抑制	米田 誠	名古屋大学医学部 生化学第二講座
10	血管内皮細胞における“容量性カルシウム流入”に関する生理活性物質の分子生物学的同定	大池 正宏	九州大学医学部 薬理学教室
11	標的遺伝子組み換えによる内在性プロモーターを用いた遺伝子治療への基礎的研究	三浦 直行	秋田大学医学部 生化学第一教室
12	有機触媒を用いた生体外蛋白質合成系による、薬理活性蛋白質合成システムの開発	上田 卓也	東京大学大学院工学系 研究科化学生命工学専 攻構造生命工学講座

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
13	肥満関連遺伝子 obese 産物の肥満の病態生理への関与に関する研究	村上 尚	徳島大学医学部 臨床検査医学講座
14	PTCA 後再狭窄に対する遺伝子治療による恒久的予防法の確立：内皮細胞特異的増殖因子の遺伝子導入による内皮細胞の再生による再狭窄予防法	森下 竜一	大阪大学医学部 老年病医学
15	HVJ-liposome 法による一酸化窒素合成酵素 (nitric oxide synthase) 関連遺伝子の <i>in vivo</i> 導入による心筋変化の解析	申 偉秀	東京大学保健センター

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
16	ケモカインの病態生理作用の生体工学的的方法を用いた解析	向田 直史	金沢大学がん研究所 薬理部
17	チロシンリン酸化による細胞増殖・分化・細胞死および細胞機能の制御機構の解析	南 康博	神戸大学医学部 第一生化学講座
18	T リンパ球初期分化における TCR $\beta$ 遺伝子再構成誘導の分子機構	高浜 洋介	筑波大学基礎医学系 免疫学
19	プレB細胞レセプターを介するシグナル伝達経路の解明	鳥山 一	(財)東京都臨床医学総合 研究所免疫研究部門
20	細胞間情報伝達におけるチロシンホスファターゼの役割の解析	緒方 正人	大阪大学医学部バイオ メディカル教育研究セ ンター腫瘍発生
21	プレB細胞レセプターの機能とその発現を制御する転写因子Pax5	工藤 明	東京工業大学生命理工 学部生命理学科生体制 御学講座
22	新しい接着因子gp34/OX40系の免疫調節機構の研究	中村 正孝	東京医科歯科大学疾患 遺伝子実験センター
23	異種骨髄細胞、肝臓あるいは肝細胞同時移植によるGVHD抑制とトレランス導入に関する研究	大段 秀樹	広島大学大学院医学系 研究科外科系専攻（外 科学第二講座）
24	免疫応答に及ぼすN領域の影響	小守 壽文	大阪大学医学部 第3内科
25	胸腺細胞のアポトーシスを司るエンドヌクレアーゼの遺伝子構造の解析と制御機構	田沼 靖一	東京理科大学薬学部 生化学教室
26	スカベンジャー受容体ノックアウトマウスを用いたマクロファージの異物、老廃物処理機構の解明	児玉 龍彦	東京大学医学部 第三内科

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
27	サルコイドーシス症関連抗原の同定	星野 友昭	久留米大学医学部 免疫学教室
28	造血幹細胞と造血支持細胞との間の主要組織適合抗原拘束性 (MHC restriction) の molecular levelでの解析	比舎 弘子	関西医科大学 第一病理学教室
29	自己免疫性再生不良性貧血患者の骨髄から単離したT細胞クローンの解析	中尾 真二	金沢大学医学部 第3内科

## 2. 薬物科学関係 (8件)

### (1)薬物設計の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	環状ペプチドライブラリ作製法の開発と創薬リード化合物探索・創製に関する研究	三原 久和	東京工業大学生命理工学部 生物学教室
2	新規骨粗鬆症薬開発に関する基礎的研究	伊東 進	大阪大学薬学部 微生物薬品化学講座
3	進行性腎障害に対する遺伝子治療法の開発	今井 圓裕	大阪大学医学部 第一内科
4	PLKリン酸化酵素に対する阻害剤の開発	濱中 良志	大分医科大学 生化学第一教室
5	神経細胞死抑制薬スクリーニングモデル動物の作成	崎村 健司	新潟大学脳研究所 分子神経生物学分野

### (2)薬物送達の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
6	クマリン型抗血栓薬投与時におけるビタミンK依存性凝固因子の血中量減少の細胞内メカニズムの解明	徳永 文稔	姫路工業大学理学部 生命科学科生体物質 化学Ⅱ講座
7	電気パルスを用いた眼内薬物送達法の開発とそれを用いた実験的網膜新生血管と増殖性硝子体網膜症の治療法	坂本 泰二	九州大学医学部 眼科学教室
8	抗癌剤の癌部位への集積を目的とした温度応答性高分子ミセルの開発	青柳 隆夫	東京女子医科大学 医用工学研究施設

### 3. 情報科学関係（2件）

#### 循環器疾患の本態解明に関する情報科学

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	プログラム電気刺激による不整脈時の心力学的研究：心筋細胞内カルシウム動態のモデリング	荒木 淳一	岡山大学医学部 第二生理学教室
2	局所心筋機能解析法の臨床応用－局所心筋機能評価機器の開発－	近藤 順義	東京女子医科大学 基礎循環器科

### 4. 生体工学関係（3件）

#### (1)心臓疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	生体内でのセンサ表面における蛋白吸着機序とその制御に関する研究	鎮西 恒雄	東京大学医学部附属 医用電子研究施設
2	虚血部の側副血行路を新生し虚血をより改善するサイトカイン含有冠動脈バイパス術用小口径代用血管の開発	富澤 康子	東京女子医科大学日本 心臓血圧研究所循環器 外科

#### (2)粒子線による診断と治療の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
3	放射線抵抗性再発癌における腫瘍血管新生の形成及びその制御に関する研究－X線と粒子線との比較－	伊藤 正光	東京大学医学部 放射線基礎医学教室

※研究助成金は1件100万円とする。



平成6年度贈呈者一覧

平成6年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (26件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	骨におけるエストロゲン応答遺伝子とその治療薬への応用	井上 聡	東京大学医学部 老年病学教室
2	ヒトの核酸分解酵素、DNase I の診断や治療への応用	安田 年博	福井医科大学医学部 法医学教室
3	膜結合型細胞増殖因子HB-EGFのリガンド受容体としての機能解析	岩本 亮	久留米大学分子生命科学研究所 細胞工学研究部門
4	Fos のトランスドミナント変異体を高レベルで発現する改良型レトロウイルスベクターによる腫瘍退縮法の開発	伊庭 英夫	東京大学医科学研究所 ウイルス研究部
5	新しいチロシンホスファターゼ (SAP-2/SH-PTP2) の増殖因子シグナル伝達における生理機能、及び癌性変異に関する研究	的崎 尚	神戸大学医学部 第2内科
6	プロスタグランジンE 受容体の機能とその生理的役割に関する分子生物学的研究	根岸 学	京都大学薬学部 衛生化学教室
7	骨のリモデリングを制御する遺伝子の単離とその機能解析	野村慎太郎	大阪大学医学部 病理学教室
8	アラキドン酸12-リポキシゲナーゼの構造と生理機能に関する研究	吉本 谷博	金沢大学医学部 薬理学教室
9	G蛋白質を介した光情報変換メカニズムの普遍性と特異性	深田 吉孝	東京大学教養学部 生命環境科学系 (基礎科学科第一)
10	セルピン・エンザイム複合体 (SEC) レセプターの構造と機能の研究	武谷 浩之	三重大学医学部 分子病態学講座
11	新規なチロシンキナーゼ型レセプターSKYのリガンドの精製とクローニング	水野 健作	九州大学理学部 生物学科代謝生理学講座
12	TGF- $\beta$ スーパーファミリー受容体を介するシグナル伝達機構の解析	一條 秀憲	東京医科歯科大学歯学部 口腔病理学教室

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
13	クロライドチャンネルの解析	内田 信一	東京医科歯科大学 第2内科
14	チトクロームP450系タンパク質(P450 <sub>coh</sub> 、P450 <sub>α</sub> )の水酸化反応機構の解明に関する日米共同研究—大量精製系の構築、結晶化、X線構造決定と機能解析を基礎として—	佐藤 孝雄	徳島大学工学部 生物工学科 生物機能工学講座
15	TATAボックス結合因子TFIID サブユニットCCG1の細胞周期G1→S移行期における機能の解析	堀越 正美	東京大学分子細胞生物学研究所 細胞生物部門分子発生分化研究分野

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
16	HIV-gp120によるCD4 <sup>+</sup> T細胞アポトーシス成立機序の解明	古賀 泰裕	東海大学医学部 生体防御機構系 感染症学部門
17	NK1.1 <sup>+</sup> 細胞欠損マウスの作成によるNK1.1 <sup>+</sup> 細胞の機能解明	荒瀬 尚	千葉大学医学部高次機能制御研究センター 遺伝子情報分野
18	JAK チロシンキナーゼを介したシグナル伝達の分子機構:EGFR/JAK3キメラ蛋白によるシグナル伝達の解析	白沢 卓二	東京都老人総合研究所 分子病理部門
19	Tリンパ球特異的な遺伝子発現を支える、転写因子PEBP2の機能	佐竹 正延	東北大学加齢医学研究所 免疫遺伝子制御研究分野
20	IL-6シグナル伝達阻害による多発性骨髄腫治療法の開発	西本 憲弘	大阪大学医学部第三内科学教室
21	新規H7-感受性伝達路によるSTATファミリー転写因子群活性化機構の解明	中嶋 弘一	大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター腫瘍病理
22	自己免疫性糖尿病の分子遺伝学的解析による免疫制御機構の解明	池上 博司	大阪大学医学部 老年病医学講座
23	NMRを用いたIL-6及びその部位特異変異株の高次構造解析	西村 千秋	東京大学薬学部 薬品物理化学教室
24	B細胞トレランスの解析	阪口 薫雄	鳥取大学医学部 免疫学教室

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
25	リウマチ性疾患に関連する HLA 抗原に結合した抗原ペプチドの同定と、関節炎発症機序および病態の解明	土屋 尚之	東京大学医学部 内科物理療法学教室
26	ヒト免疫異常症における CD40/CD40 リガンド分子の役割	野々山恵章	東京医科歯科大学 医学部小児科学教室

## 2. 薬物科学関係 (11件)

### (1) 難治性疾患治療剤の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	動脈硬化冠状動脈血管平滑筋の細胞内 Ca <sup>2+</sup> 動態及び収縮特性変化と膜過分極薬の効果	伊藤 猛雄	名古屋市立大学医学部 薬理学教室
2	う蝕細菌の病原因子発現調節に作用する化学製剤によるう蝕予防法の開発	山下 喜久	九州大学歯学部 予防歯科学講座
3	末梢神経障害に伴う神経ペプチドの遺伝子発現の変化と難治性感覚異常症の病因及びその治療法に関する研究	野口 光一	兵庫医科大学 解剖学第 2 講座
4	ATP 感受性 Kチャンネル開口剤の作用機序の解明と臓器作用検定法の開発	倉智 嘉久	大阪大学医学部 薬理学第二教室
5	アルツハイマー症アミロイド前駆体タンパク質 (APP) のリン酸化を制御する因子の探索	鈴木 利治	東京大学薬学部 薬品製造工学教室
6	遺伝性神経変性疾患の原因遺伝子の同定とその治療薬の開発	垣塚 彰	京都大学医学部 薬理学教室
7	CD4 分子に結合するヒトヘルペスウイルス 7 型由来蛋白によるエイズ治療薬の開発	安川 正貴	愛媛大学医学部 内科学第 1 教室
8	増殖性糸球体腎炎の発症機序における、MAP kinase cascade と細胞周期に関与する細胞内情報伝達系の基礎的及び臨床的検討	寺田 典生	東京医科歯科大学 医学部第 2 内科霞ヶ浦 分院
9	筋ジストロフィー症の新しい治療薬の開発研究	沢田 均	北海道大学薬学部 薬品生物化学講座
10	血管収縮制御の新しい分子機構	田中 利男	三重大学医学部 薬理学教室

## (2)製剤学の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
11	生体内信号に応答する薬物放出特性を有する硬組織親和性セメントによる埋め込み型薬物送達システム	大塚 誠	神戸薬科大学薬学部 製剤学研究室

## 3. 情報科学関係 (2件)

### 循環器疾患の本態解明に関する情報科学

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	心筋クロライド電流の制御と不整脈に関する研究	富永 真琴	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所 機能協関部門
2	高速度超音波断層装置と非侵襲連続血圧計による血管弾性指標の可視化—動脈硬化の早期発見と部位特定をめざして	榊田 晃司	国立大阪病院 臨床研究部医用工学研 究室

## 4. 生体工学関係 (3件)

### (1)心臓疾患の治療制御に関する研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
1	アンチセンス核酸固定化法を用いた冠動脈平滑筋増殖抑制能を有する医用材料開発	北島 勲	鹿児島大学医学部 臨床検査医学
2	新しい原理による小型容積型連続流血液ポンプの開発とそれを用いた完全埋込型人工心臓の開発	阿部 裕輔	東京大学医学部附属医 用電子研究施設 臨床医学電子部門

### (2)粒子線による診断と治療の研究

No.	課 題	主たる研究者名	所 属
3	心筋梗塞症における酸素代謝に関する研究	山本 雄祐	国立循環器病センター 心臓内科

※研究助成金は1件100万円とする。